

採用担当者からのメッセージ

Message from Recruiter

財務省職員が立ち向かう課題は多岐にわたり、深い洞察を要します。世の中の一時的な雰囲気や、流行りの言説に流されず、職員の知力、経験、人間力を総動員して誠実に考え抜き、説明し、納得を得て、実現すること、常に当事者であること、それが財務省職員の姿勢です。また、公のために働くことの誇りを失わず、国民の皆様や世界の人々の声に耳を傾け、社会全体から学び続ける謙虚さも必要とされる集団です。

我々が行政に対する期待に応え、責務を果たしていくために最も必要なのは強い権限でも多くの情報でもなく「人材」です。国民の皆様が希望と誇りを持って安心して暮らせる社会の実現に向けて、これまで以上に多種多様な能力、経験を持つ職員を必要としています。

このパンフレットを手に取った皆さんが志している「公のために働くこと」は、どれも素晴らしい仕事ばかりです。前向きに業務に取り組めば、やりがいはいくらでも得ることができます。7万5千人を超える財務省職員と手を携えて、国民の皆様や世界と向き合っている個性・才能ともっと出会いたいと思っています。

人事調査官 岡田 芳明
OKADA Yoshiaki



(筆者は前段右)

このパンフレットは、財務省の業務の魅力だけではなく、職員の魅力についても伝えたいと思い作成しました。というのも、私が財務省を志望した最終的な決め手は、「職員の方の人柄」だからです。

現在は採用担当をしておりますが、私も3年前は皆さんと同じ就活生でした。当時は「本当に財務省で働いていけるのだろうか」と不安でいっぱいでしたが、説明会に参加して、明るくエネルギーに働く職員の方に憧れて「一緒に働きたい! 」と、感じ財務省に挑戦することを決意しました。今でも、その決断に間違いはなかったと胸を張って言えます。

もし当時の私のように、財務省で働くことに不安を抱えている方がいるのであれば安心してください。財務省はあなたを独りにはさせません。困ったことがあれば、いつでも頼れる先輩職員がたくさんいます。まずは、一歩踏み出して採用イベントに参加してみてください。「財務省で一緒に働きたい! 」と、感じさせてくれる魅力的な職員が皆さんをお迎えします。

採用担当 安藤 樹一
ANDO Juichi

Q & A

採用に関してよくあるご質問

Q 財務省の業務内容について詳しく知りたいのですが、どうしたらいいでしょうか?

A 財務省では、人事院が全国各地で開催する「一般職各府省合同説明会」の他、各大学・公務員予備校主催の説明会等に多数参加しています。詳しいスケジュールは、随時財務省本省一般職採用HP、または公式X(旧Twitter)に掲載していますのでご確認ください。
なお、財務省が主催するイベントでは、現役職員による詳細な業務説明や若手職員との座談会を中心とした説明会、財務省の各機関(本省、財務局、税関、国税局)が合同で行う「財務省一般職・専門職セミナー」等様々なイベントを開催しておりますので、ぜひご参加ください。



財務省本省一般職採用HP



公式X(旧Twitter)

Q 最近の採用実績について教えてください。

A 国家公務員一般職試験(大卒程度)合格者からの採用者数は、令和6年度には9名、令和5年度には11名となっております。過去5年間の採用者状況は以下のとおりです。

	R2	R3	R4	R5	R6
一般職(大卒程度)	5	9	12	11	9
うち女性数	3	6	6	5	4

Q 入省後のサポートや研修制度にはどのようなものがありますか?

A 入省後、西ヶ原(東京都)の研修合同庁舎にて、全国の財務局で採用された職員と、約2か月間の合同研修を行います。この研修では、国家公務員としての基礎知識や財務省職員として必要な専門知識等を習得することだけでなく、一定期間研修所での共同生活を送ることにより研修生間の連帯感を担うとともに、集団内の個人の立場や役割を学びます。また、役職・業務に応じた研修や、各試験等(ファイナンシャル・プランニング技能検定や簿記検定等)の受験をサポートする研修など、自己研鑽できる環境が整っています。(研修制度については、P19でも紹介しています。)

Q 転勤はありますか?

A 地方支分部局(財務局・税関)や政府系金融機関・独立行政法人等へ一定期間出向する場合がありますが、基本的には財務省本庁舎及びその近辺の勤務地での勤務となります。